

嶺南地域共創センター

ニュースレター

大学院生が福井県園芸研究センターで指導いただきました

令和7年5月16日(金)に、大学院PBL授業の一環として、美浜町にある福井県園芸研究センターを院生4名と教職員が訪問し、同センターの活動や農業現場での課題などについて指導を受けました。

本学では、科学技術の知識に加え、経営に関する知識や経験、ものづくりを通じた実践的スキル、さらには次世代の産業を支える技術開発力を有する人材の育成を目的とした技術経営カリキュラム(MOT教育)を展開しているところです。

このカリキュラムの一環として、「PBLⅡ(製品・サービスの試作及び試販売)」科目を実施していますが、この科目は個人またはグループで地域課題を調査・検討のうえ、ものづくりによる解決策を提案し、その試作品を製作するものです。試作課題は昨年度に引き続き、嶺南地域に赴くなどして、主に農業関係者からのご指導やフィールド調査のうえ抽出した地域課題の解決に資するものとしています。

当日は、同センター研究員の方から、ウメ・果樹、野菜・花き、スマート園芸などの研究業務に関する現状と課題などについてご指導を受けた後、圃場へ出て現地視察や自身のテーマに関する質疑応答などを行いました。

現状、院生が取り組もうとしているテーマは、梅の生産・管理や再資源化に関するもので、機械・知能システムや繊維・材料工学などの知識を応用し、課題解決のための試作品を製作する計画です。これらの成果は、本年10月23日(木)・24日(金)に開催される「北陸技術交流テクノフェア2025」に出展する予定です。(文責/山口光男)



試作テーマを発表している様子



梅の木について指導を受ける様子

第7回オープンイノベーション大賞を受賞しました

令和7年2月5日(水)に、内閣府本府庁舎・講堂において、日本オープンイノベーション大賞の表彰式が開催されました。

日本オープンイノベーション大賞は、内閣府などが主催する、日本のイノベーション創出を加速するための表彰制度です。この度、本学とアフラック生命保険株式会社、アフラックデジタルサービス株式会社、福井県若狭町が共同で進める「IoTデバイスを活用した高齢者の健康支援モデル構築」の取り組みが高く評価され、本学医学部の大西秀典助教が、第7回日本オープンイノベーション大賞の選考委員会特別賞を受賞しました。



表彰式の様子

【発行・取材】福井大学 地域創生推進本部 附属嶺南地域共創センター

【敦賀サイト】〒914-0055 福井県敦賀市鉄輪町1-3-33 福井大学敦賀キャンパス内

【小浜サイト】〒917-0069 福井県小浜市小浜白鬚112 白鬚業務棟3階

ホームページはこちらから→

